

笑ってごらん

第 582 号 H. 29. 5. 9 発行

～今日のことば～

いつも歩く道を離れ、未踏の森に飛び込み、
新しいものを探れ！

(江崎玲於奈)

◇◆5月の『大型連休』が終わった。公立学校ではカレンダー通りの3～7日の5連休でしかなかったが(それでも3～5日の連続祝日の後に土日が続いたので例年よりは長いはず)、本校では4月30日(日)を登校日と位置づけ、2日とその分の振替休日に充てたので、都合1日多い6連休となった。この連休中、試合や遠征に汗を流した部活動生、砂の祭典をはじめとするアルバイトに精出した生徒も多くいた。また、寮生の多くは帰省し、家族とともに過ごした。特に、高校1年寮生にとっては、この1ヶ月間、新しい環境に身を置いて緊張の連続であっただろうから、しばらくぶりにホッと一息つけたのではないだろうか。皆それぞれに日頃出来ないことに取り組み、充実した連休になったことと思う。連休でチャージされたエネルギーをもって、これから夏休みまでしっかり尽力して欲しい。 ◆どうやら世間では、4月29日(昭和の日)から5月7日まで9連休となった会社もあるらしい(当然5月1・2日は有給休暇を申請してのことだろうが...)。ある朝、何気なくテレビを観ていたら、野球選手へのインタビューシーンが放送されていた。「会社によっては9連休の所もあるようですが、9連休あったら何をしますか？」という問いかけに対し、ほとんどの選手は「9連休も要らない。2～3日あれば十分。それ以上あると落ち着かない」と異口同音に答えていた。スポーツ選手にとっては練習をしない日が続くと、一旦落ちた体力の回復の方が心配で、数日後にはトレーニングを始めてしまうらしい。さすが、プロだなと感心した。本校でも強化部に属している生徒諸君などは同様に感じているんだろうね。

◆ときに、5月の連休のことを一般的には『ゴールデンウィーク』と言っているが、冒頭では敢えて『大型連休』と表現した。実は『ゴールデンウィーク』というのは、1951年のこの期間に封切られた大作映画が正月や盆よりもヒットしたため、日本映画界が観客動員数を増やすキャンペーンのために使い始めた言葉だそう。語源としては、ラジオの聴取率が高い時間帯を意味する『ゴールデンアワー』に倣ったものとされる。そんな経緯のある和製英語ゆえ、某国営放送のアナウンサーは必ず『大型連休』と言わなければならないそうだ(いろいろと制約があるんだね)。



感謝道

◇◆1日(月)、看護学科基礎課程2年生の戴帽式を実施。209名が戴帽を受けた。毎年の事ながら荘厳な式ゆえに、自然に感動の雰囲気が高まる。今回も実行委員(29名)の皆さんの尽力の下、とても立派な式になった。おめでとう！ ◇◆豆ご飯を食した。グリンピースの旨味が口いっぱい広がる。匂を感じる時。ありがたい。豆ご飯を食べながら、どうしてもグリンピースの形状に目が行ってしまう。丸・緑、しわ・緑、丸・黄、しわ・黄…。つくづく「理科の教員だな…」と思う。『遺伝』で取り扱う内容だ。優性遺伝・劣性遺伝とあるが、常々「優劣」がついていることに違和感を覚える。出現率による判断であろうが、それでも「劣性」っていう表現はいただけない。別に劣っている訳ではなく、形状に違いがあるだけであり、グリンピースはグリンピースなのだ。食べれば普通に美味しい。一般的ではなく、数が少なく珍しいからといって「劣性」扱いするのはどうかと思う。私たち人間もたくさんの項目における『遺伝』が複雑に絡み合っている。ここにも一つひとつの項目において優性・劣性はあるのだろうが、私はすべてをひっくるめて『個性』と位置づけたい。遺伝学的には劣性だろうが大切な『個性』。「噛めば噛むほど味が出る」そんな風になれば素晴らしいね。